

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	近代化産業遺産活用事業	コード	112305
-------	-------------	-----	--------

2 担当部課	部等 生涯学習課	課等 文化財・博物館	作成者 両角 加代子
--------	----------	------------	------------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	文化・スポーツの振興	施 策	文化財の保護・活用
		予算科目	近代産業遺産啓発事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等

*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要 （簡潔に）	近代化産業遺産に認定を受けた資産の歴史的価値の公開
目的	対象者 歴史的建造物や製糸業に関心のある市民及び来訪者
	意 図 遺産群や岡谷市の製糸業に関する関心を高める

5 事業の実施内容

*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

○旧山一林組製糸事務所2階「まゆちゃん工房」の運営 簡易な機織り体験、まゆ人形、コサージュ作りができる体験工房を運営した。 利用日数 28日 利用人数 616人	
○近代化産業遺産活用関連イベントの実施と協力 ・2013シルクフェアinおかや 4月29日 ・わくわくシルクサマーセミナー 8月2日 ・岡谷太鼓祭での近代化産業遺産の紹介 まゆちゃん工房臨時オープン 8月13日・14日 ・ものづくりフェア2014での展示 2月7日・8日	
前年度の課題への対応	まゆちゃん工房の利用促進のため、プログラムの充実を図った。 新しい蚕糸博物館の基本設計を進めていく上で、近代化産業遺産群との関りを再検討した。

6 指標の達成状況

*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	近代化産業遺産関連イベント開催日数			単位	日
実績値	32	25	28		
* 指標の説明	近代化産業遺産に関連したイベント等を開催した日数				
② 成果指標（指標名）	近代化産業遺産関連イベント開催日数			単位	日
目標値	106	106	106		
実績値	32	25	28		
達成度	30.2%	23.6%	26.4%		
* 指標の説明	近代化産業遺産に関連したイベント等を開催した日数				
* 目標値の設定方法の説明	過去3年間の最大値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	3,018,051	1,898,768	1,406,553	0
経常経費	365,828	1,898,768	1,406,553	
臨時的経費	2,652,223	0	0	
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	4,480,000	4,480,000	1,760,000	0
正規職員の人数(人)	0.56	0.56	0.22	
③ 合計コスト(①+②)	7,498,051	6,378,768	3,166,553	0
前年度比		85.1%	49.6%	0.0%
財源				
一般財源	4,645,578	6,261,518	2,898,053	0
内訳 特定財源	2,852,473	117,250	268,500	
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	151,432	255,151	113,091	
前年度比		168.5%	44.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	#DIV/0!

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。		0
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	112.0%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。		0
成果指標の目標値 達成度	26.4%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	蚕糸博物館が休館しているため、近代化産業遺産関連のワークショップの回数を減らしている状況にある。 まゆちゃん工房の機能が蚕糸博物館に集約されるため、2階部分のこれからの活用方法と、旧山一林組製糸事務所全体の活用方法について、さらに検討を進める。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	新しい蚕糸博物館開館に伴い、近代化産業遺産関連のワークショップ（まち歩きのルート等）や歴史学習の内容の再検討を行い、充実を図る。 近隣の美術考古館、旧林家住宅等の文化施設と展示やイベント等で連携し、市内の回遊性を高めていく。 新施設での、まゆちゃん工房の内容の充実を図る。	
	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	C
-----------	--------	---	---